

## 別紙様式 4

# 上益城郡教科等研究会（中学校美術部会） 令和 2 年度 研究活動のまとめ

### 1 研究テーマ

みんなで楽しく『見つめ・感じ・つくりだす』授業づくり

### 2 研究経過

第 1 回			第 2 回			第 3 回		
期日	人数	場所	期日	場所	午後 理論研	期日	場所	授業者
7 / 6	3 2	広安西 小学校	11 / 19	広安西 小学校		1 / 22	御船中 学校	野口良美 教諭

### 3 研究の概要

#### (1) 研究の内容

中学校美術部会では、12年前から小学校図画工作部会と連携して研究を進めている。今年度も昨年度の研究内容を引き継ぎUDの視点を取り入れた上記のテーマで小学校・中学校が協力して研究を深めてきた。

第2回の研修では、県教育センターの高森指導主事による講話が行われた。講話は「鑑賞の授業づくり」のテーマのもと行われ、演習も交えながら互いの授業展開についても協議した。その中でも多くのグループにおいて「評価」について話題となり、評価する場面の設定、計画が必要なことがわかった。子供のつぶやき、活動の様子などを記録として残し、ワークシートでは感想の記述のみでなく、思考の変容なども可視化できる工夫も評価方法としてあげられた。学ぶ意欲を引き出す導入の工夫に、「～してみよう」「どちらが～」「なぜ」「どうして」など問いの工夫でさらに深まった鑑賞を行うことができることがわかった。

第3回研修は研究授業を参観することはなかったが、提案された構想案について小中の先生方から意見をいただき、新鮮な意見交換や小・中学校それぞれの立場では気がつかなかった新しい視点での授業づくりが検討されることにとっても大きな意義を感じることができた。

#### (2) 成果と課題

##### ○成果

- ・今年度、新規採用の先生や初めて美術教師として教壇に立つ先生など若手の先生が増え、新たな気持ちで互いの意見交換をすることができた。次年度より新学習指導要領に移行され、評価など互いに不安に思うことなどについても意見交流ができた。
- ・「鑑賞の授業づくり」の研修では、導入や問いかけ、評価など具体的に学ぶことができ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性等」を相互に関連させながら学習を行っていけるようさらに研鑽を積んでいきたい。

##### ○課題

- ・今年度は、研修も短縮や中止など例年とは大きく違った年であった。授業作品などの交流もできず、互いの実践を知らせたり学んだりする機会がほぼなかった。次年度は互いの学校で取り組む題材について研究していきたい。

#### 4 実践事例

題材名	日本の美～御船町の四季をイメージしたオリジナル和菓子を作ろう！～		
題材の目標	和菓子の形や色彩の美しさに関心を持ち、地域のよさや四季の美しさなどの自分が表したいイメージをもとに、構想を練り、創意工夫して表すことができる。		
題材の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	色彩や形などを工夫し、自分の表したいイメージを基に表現方法を工夫し、創造的に表現している。	地域のよさや四季の美しさなどを基に、表したいことを心の中に思い描き、形や色彩などを整理して構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	自己の主題を明確に持ち、創意工夫して実現しようと制作を楽しみながら意欲的に取り組んでいる。
題材終了時の生徒の姿（題材のゴールの姿・期待される姿）			
御船町の四季の美しさから主題を生み出し、表現の意図や心情を大事に、自分の表現方法を追求して表現しようとする生徒			
題材を通した課題（題材の中心的な課題）		本題材で働かせる見方・感じ方	
御船町の魅力を発信するオリジナルの和菓子を制作しよう。		感性や想像力を働かせ、和菓子の形や色彩の美しさなどの造形的な視点について考え、自分の表したいイメージについて向かい、自分の中に新たな意味や価値をつくりだすこと。	
指導計画と評価計画（7時間取扱い 本時 1 / 7）			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
1	1	<u>○和菓子の形や色彩、材料の質感、名称などに注目し、よさや美しさを味わい、学習への意欲を高める。（本時）</u>	★【態①】（観察） ○和菓子の役割や表現に関心を持ち、主体的によさや美しさを感じ取っている。 ★【思①】（ワークシート・発言） ○和菓子から、造形的なよさや美しさなどを捉え、具体的にワークシートに記録している。
2	3	○御船町のよさや美しさを基に表したい和菓子のイメージ（主題）を持ち、表現の構想を練る。 ○四季を視点によさや美しさをイメージする。 ○創出した主題から形を単純化や象徴にするなどし、自分の考えを練り上げて構成する。また、材料の特性と表したいものの形や色彩との調和を考えて構想する。 ○グループを組み、客観的な視点を基にアイデアスケッチを批評し合い、構想に改善を加え練り上げる。	【態②】（観察） ○地域のよさや美しさをテーマに和菓子制作することに関心を持ち、主体的に表現の構想を練っている。 【思②】（ワークシート） ○自分の表したいイメージを持ち、主題を生み出し言語化している。 【思③】（ワークシート） ○主題から形を単純化するなどして、アイデアスケッチと言葉で表現している。
3	2	○制作順序について理解する。 ○構想を基に、材料の特性を生かし、形や色彩、道具の使用の仕方などを工夫して、自分の表したいイメージを作品に表現する。	【態③】（観察） ○粘土の特性を主体的に生かし、表現方法を工夫しようとしている。 【知①】（作品） ○粘土の特性を生かし、表したいイメージを持ちながら、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。

4	1	○自己の作品を振り返り、対話活動をしたうえで自己の考えをワークシートにまとめる。友人の作品から感じ取ったよさや美しさなどについて交流する。	<b>【態④】</b> （観察、ワークシート） ○作者の表現意図と表現の工夫などに関心をもっている。 <b>【思④】</b> （観察、ワークシート、作品票） ○感性や想像力を働かせ、友達の作品や自分の作品からよいところを見つけている。
---	---	---	--

## 2 題材における指導計画と評価計画及び系統

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)				
中学校学習指導要領 第1学年 [知識及び技能] [共通事項] (1) ア、「A表現」(2) ア(ア) [思考力, 判断力, 表現力] 「A表現」(1) ア(ア)、(1) イ(ア)、「B鑑賞」(1) ア(ア)、(1) イ(ア)				
教材・題材等の価値				
本題材は、日本の伝統文化である和菓子を取り上げる。和菓子に表現される、形や色彩の工夫による季節感の表現などのイメージを基に、オリジナルの和菓子の制作を行う。本題材の学習を通して、日本の文化に関する関心を高め、地域のよさや四季の美しさなどをイメージし、形や色彩を単純化して表現し創意工夫して積極的に取り組み、相互鑑賞を通して見方や感じ方をさらに広げ、自分の中に新たな価値、自分たちのふるさとに愛着や誇りを持てるような題材である。				
本題材における系統（横軸を当該学年での他領域とのつながり、縦軸を他学年での同領域のつながり）				
(A表現) 私の体育館シューズ (絵画)	(A表現) なるほど! 絵文字 (デザイン)	(A表現) 四季をイメージしたオリジナル和菓子を作ろう! (工)		
		(A表現) 銘々皿		
		(A表現) 切り絵		
生徒の実態（題材の目標につながる学びの実態）				
調査内容				
デザインや工芸などの表現活動に対して興味がある。	よく	まあまあ	あまり	ない
日本の美術に興味がある。	19%	37%	28%	16%
作品を作る際に「このような作品にしよう!」とイメージして取り組むことができる。	21%	30%	43%	6%
作品を作る際に「このような作品にしよう!」とイメージして取り組むことができる。	26%	53%	9%	12%
友達の作品や美術作品を見て、よさや美しさを味わうことができる。	32%	62%	0.6%	0%
<b>■考察</b> 1年生は1学期に絵画、2学期に主にデザインを学習し、3学期で初めて工芸分野の学習を行う。知っている画家(作家)にはピカソやゴッホなどを挙げるが、日本の美術に対しての興味関心はあまりないことがわかる。発想構想に関しては、79%の生徒が自分のイメージを大切に制作に取り組んでいることがわかる。発想に時間がかかり、苦手意識がある生徒も若干名いるため、発想の手立てを行う必要がある。鑑賞に関しては、よさや美しさを味わうことができる生徒は94%おり、鑑賞の楽しさを感じている生徒は多い。よさを味わい、さらにそれを相手に伝えたりする活動も行っていくことで鑑賞する喜びを今以上に感じることができる。				

## 3 指導に当たっての留意点

- 鑑賞の学習との関連を図り、作家の心情や意図、表現の工夫などを読み取らせ、作者の作品に込めた様々な思いや主題を深く考えさせることで、生徒が自己の内面を見つめ、主題を生み出すことができるようにする。
- ふるさとである御船町を見つめ生み出された主題を設定することで、和菓子への制作意欲を向上さ

せ、より質の高い作品を完成させることができる。

○感じ取った作品の価値を、生徒同士で発表し合い、共有することで自分の気づかなかった作品のよさやすばらしさを発見し、より創造的な活動の楽しさを実感することができる。

#### 4 本時の学習

##### (1) 目標

和菓子に込められた美意識や季節感を感じ取るとともに、和菓子のよさや美しさを味わい、和菓子の役割について考えることができる。

##### (2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p>1 12枚の和菓子カードの鑑賞をし、順番に並べる。 ◇12枚あるので、月ごとに並べるのではないか。 ◇モチーフから合う季節を考えよう。</p> <p><b>【本時の目標（めあて）】</b> 和菓子のよさや美しさを味わい、伝え合うことができる。</p> <p><b>【学習課題】</b> ○和菓子を鑑賞し「和菓子の役割」や、形</p>	<p>○和菓子のカードを並び替える活動を通して、和菓子には季節感が重要な要素であることに気付かせる。</p>
展開	30分	<p>2 和菓子職人の映像を鑑賞する。 ◇五感で味わうお菓子である。 ◇季節感を大切に作ってある。</p> <p>3 本物の和菓子を鑑賞し、表現されている四季を考え工夫点に気付く。 ◇ピンクなので桜を表現しているのでは。</p> <p>4 和菓子の役割、よさや特徴をワークシートにまとめる。</p> <p><b>【期待される学びの姿】</b> 和菓子を鑑賞する活動を通して、対話的な学びから形や色彩の表現などが表現す</p> <p>5 各グループで出た意見を発表する。</p>	<p>○和菓子を見ることに興味を持ち、創造的な表現の工夫などを探る活動を通して、形や色彩、香りなどの感情効果に注目し、表現意図を考えたりする。</p> <p>○和菓子に込められた思いや、日本の伝統を意識させる。</p> <p>○和菓子職人が何から発想を得ているのか、どのような思いで作っているのかなど、映像を基に制作上大切なポイントを共有する。</p> <p>○和菓子の持つ造形的な美しさだけでなく、そのイメージを読み取ることで日本人が大切にしてきた美意識に気付かせる。</p> <p>○対話的な学びから、自分の気づかなかったよさや表現の意図や創造的な工夫などを発見する。</p> <p><b>【具体の評価規準】 思考・判断・表現</b> 和菓子から、造形的なよさや美しさなどを捉え、具体的にワークシートに記録している。(ワークシート・発言)</p> <p><b>【到達していない生徒への手立て】</b> ○友人の発表を聞くことで、様々な考えがあることを知り、見方や感じ方を深める。 ○多様な表現方法を知り、自分の主題を生み出すきっかけとする。</p>
末終	10分	<p>6 本時の学習を振り返り、これから学習する「和菓子」について見通しを持ち、次時へとつなげる。本時の感想を書く。</p>	<p>○本時の学習を通して感じたことや考えたこと、次時からの自分の作品についての考えをまとめる。</p>